

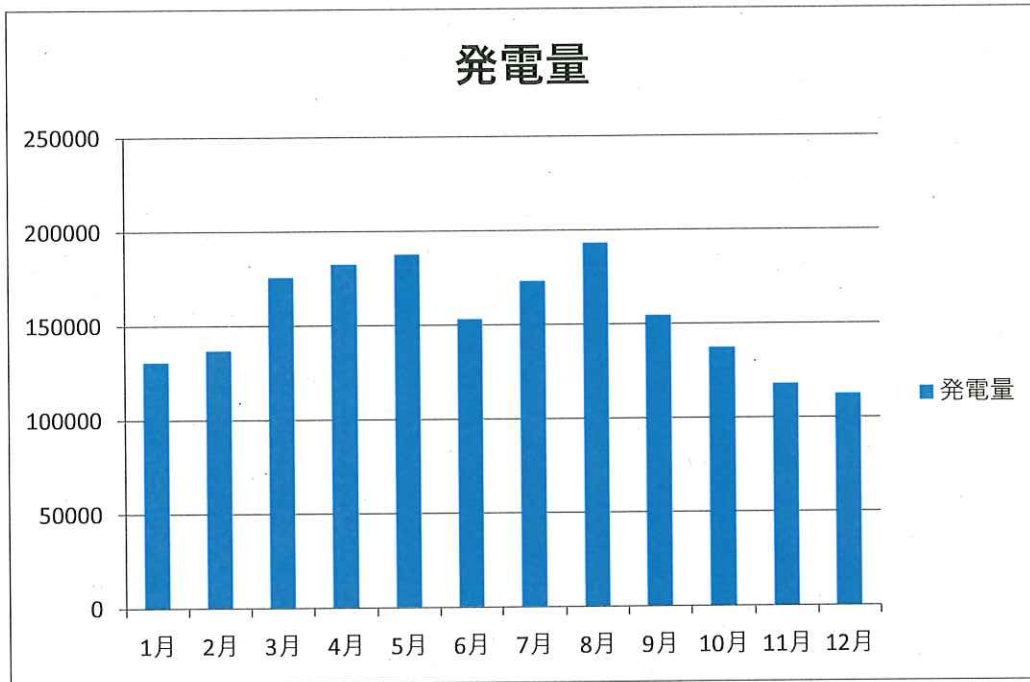
MAXIFIT用発電量シミュレーター



発電所名: NextEnergy
 地点名: YOKOSHIBAHIKARI
 パワコン名: NEXT SPSS-55D-NX
 設備容量: 1182.5kW
 パネル名: NER660M320

2020/2/11
 Ver.2.00

Group1	方位: 0度	傾斜角: 10度	パネル枚数: 5000	増加積載量: 135%	パワコン台数: 215
Group2	方位: 0度	傾斜角: 0度	パネル枚数: 0	増加積載量: 0%	パワコン台数: 0
Group3	方位: 0度	傾斜角: 0度	パネル枚数: 0	増加積載量: 0%	パワコン台数: 0
Group4	方位: 0度	傾斜角: 0度	パネル枚数: 0	増加積載量: 0%	パワコン台数: 0
パネル総枚数: 5000			パネル総出力: 1600kW	総過積載量: 1%	



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
1E+05	1E+05	2E+05	2E+05	2E+05	2E+05	2E+05	2E+05	2E+05	1E+05	1E+05	1E+05	1853190 kWh

算出条件

- 日射量データ: NEDOの全国日射量データベース(MET-PV11)にて
 傾斜角+方位角を設定して1年分の日毎データを入力、平均年、多照年、寡照年の入手も可能
- 算出ロジック: [太陽電池容量x日射量データ(日毎)xシステム効率x増加積載によるパワコン出力Over分Cut]で
 日毎の発電量を算出後、月間、年間で合計 温度については考慮していません。

・本シミュレーションの結果は目安であり、実際の発電量を保証するものではありません。

実際の発電量との差異は、以下の例が考えられます。

- 日射量の年変動、NEDO測定点と発電所設置場所の気象条件の違い
- 設置場所・設備固有の条件による影響
 - 周囲の建築物・設備自身等による影、草、パネル面汚れ等の環境要因
 - 電圧上昇抑制等の系統からの要因
 - 設備の効率やばらつき・故障・劣化・障害物・点検等
 - 天候要因での停止、発電量低下、雷、雪、霜、水害等 その他